

生成AIワークショップ（実践編）アンケート結果

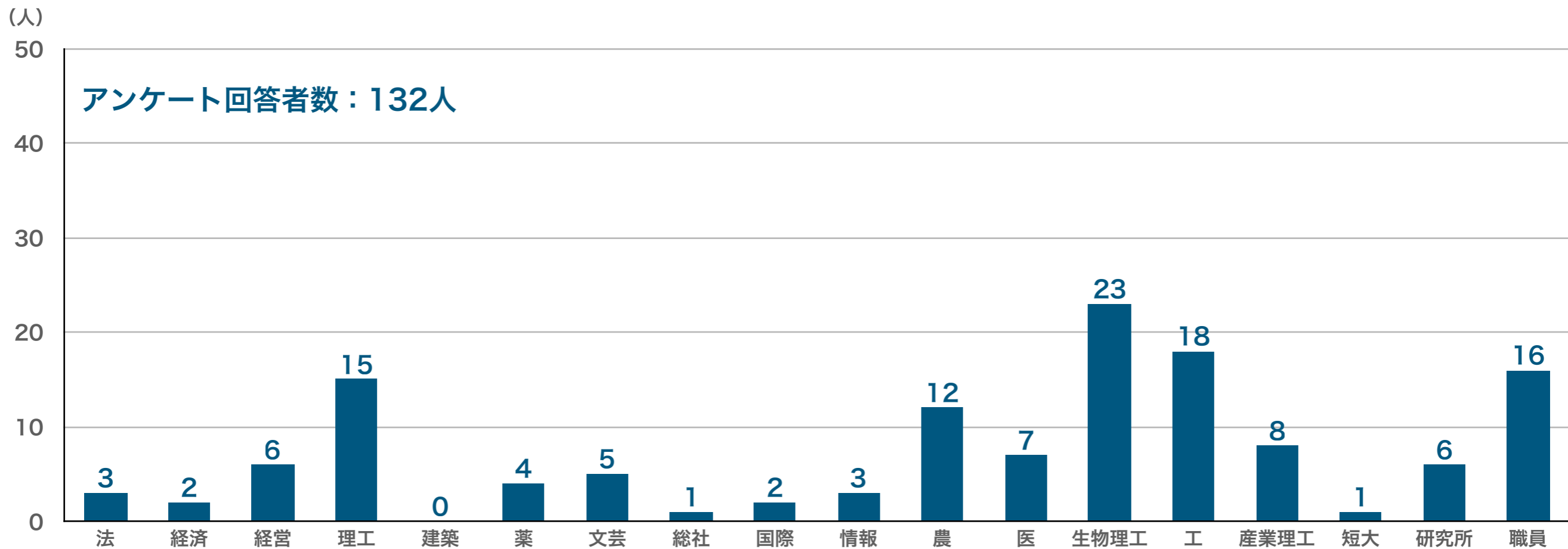
生成AIワークショップ 概要

日時：令和6年2月19日（月）13:00～14:30

場所：Zoom

テーマ：『人文・社会科学系での活用編』・『自然科学系での活用編』

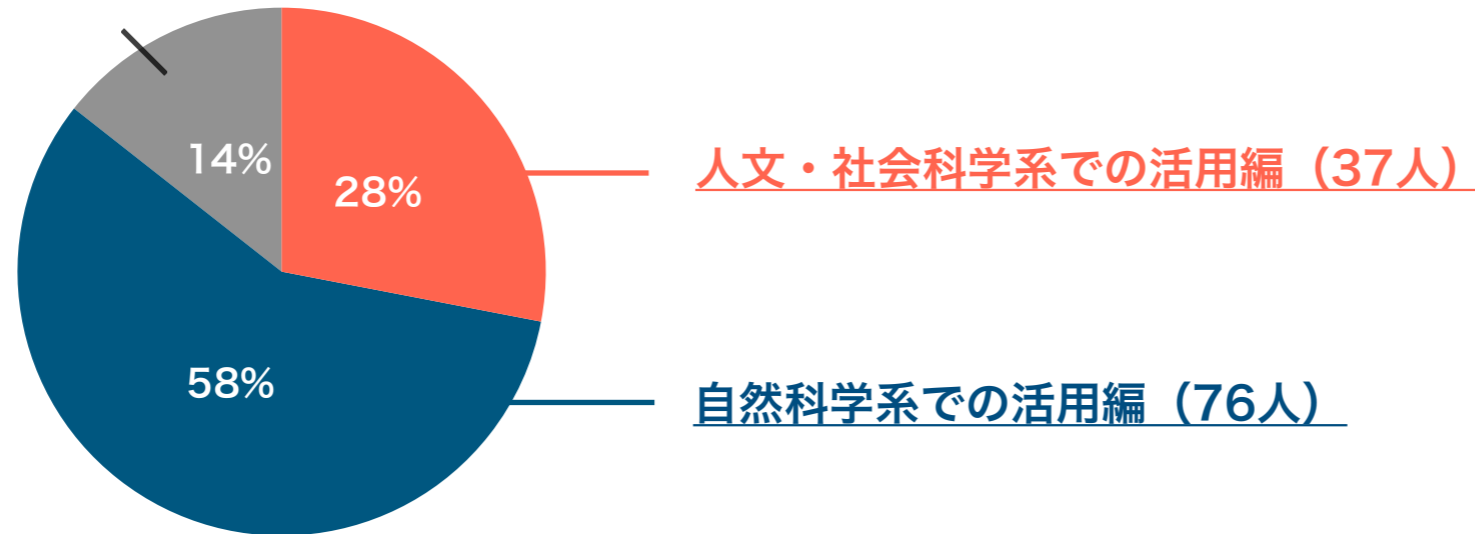
参加者（同時接続100人・アーカイブ視聴30人程度）



生成AIワークショップ（実践編）アンケート結果

Q1 どちらのルームに参加しましたか

両方のルームに参加した（19人）



Q2 ワークショップ（実践編）は授業運営などの参考になりましたか

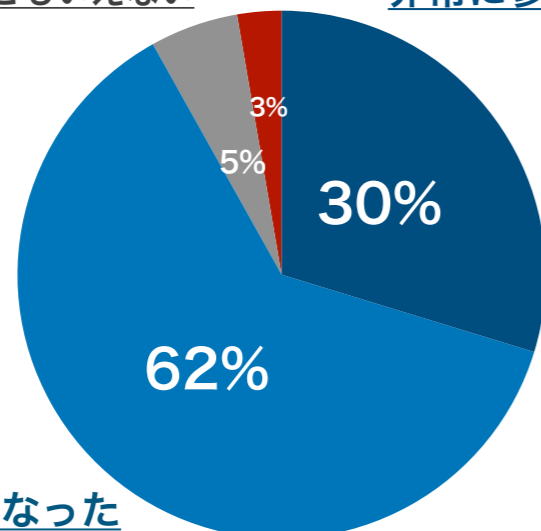
「人文・社会科学系での活用編」

「自然科学系での活用編」

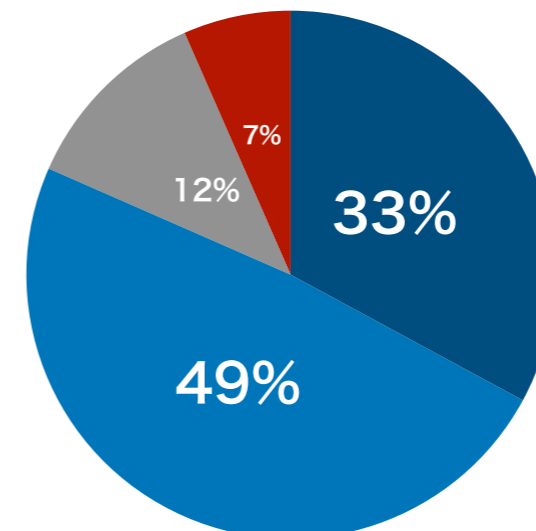
あまり参考にならなかった

どちらともいえない

非常に参考になった



ある程度参考になった



Q3 今後、どのようなテーマのワークショップに参加したいと思いますか。

- 同様の生成系の話我希望します
- 学部での数学教育の工夫について
- 学生に指導するための情報倫理の研修
- 内部質保証（IR）に関するワークショップ
- 最初のchatGPTのID取得などの方法の具体的な学生への説明の仕方が知りたいです。
- 外部資金獲得
- AIを用いた学習の個別化のノウハウなど
- 生成AIを授業に活用されている他の先生の話聞いてみたい。
- ChatGPTのAPIの使い方
- 進化する生成AIの最先端の状況と教育についてのワークショップに参加したいと思います。
- より細かい分野での実践ワークショップ（生物系学部での生成AI活用例など）
- 職員の企画業務に活用する事例など紹介してもらいたいです。
- 日進月歩ですので、また定期的に情報のアップデートのための企画をお願い申し上げます。
- 同様の内容の最新版。
- 業務の効率化・自動化に関するワークショップ
- 生成AI使用において、研究倫理をどのように意識するか。また学生と使用規範をどのように共有するか。教育するか。
- 生成AIの利用方法や利用に関する注意などのテーマで、次年度改めて開催して頂けると幸いです。
おそらく今後、様々なノウハウが蓄積されたり、逆にAIのほうが進化して利用法を改める必要などが出てくる可能性があると思います。今回は非常に参考になりました。ありがとうございました。
- 生成AIの卒研などへの活用について
- もう少し長めに時間を取って、実際に操作しながらリアルタイムで質問などができる形式での開催を希望します。
- AIをしばらく続けて頂けると嬉しいです。ありがとうございました。
- 生成AI系の実践編Part2に関しても開催していただきたいです。
- 生成AIの業務支援について更なる実用例の紹介があれば参加したいです。
- 生成系AIの続き（毎年、進化していくと思うので）
- 授業での実践報告

Q3 今後、どのようなテーマのワークショップに参加したいと思いますか。

- ・ 授業での実践報告
- ・ 生成AIなどより、従来のツールをより深く活用するための手法を期待します（Google Office, slack など）
- ・ 事務作業の生成AIの活用にも興味があります。
- ・ SDGs（持続可能な開発目標）に関するワークショップ
- ・ 学園統一のChatGPT利用手引きがあれば有難いです
- ・ 生成AI関係でしょうか。それに限定されなければ「学生の読解力」など
- ・ 業務の自動化、効率化に関するワークショップ
- ・ 生成AI
- ・ ”生成AIのデザイン関連の話はたいへん面白かったです。AIの世界は秒進分歩の世界で進化をしています。また数年後、同様のテーマで企画していただきたいです。
- ・ 大学は対面授業に回帰していますが、鳴り物入りで始めたKICSオンデマンドについて、一度、総括をされてはいかがですか。人気の科目もあるようですが、学生は履修だけして最後まで受講している率はいかほどなのでしょうか。オンデマンド授業において双方向性は担保されているのか、担当された教員が感じる問題点など、大学にとっての宣伝になるようなメリットだけでなく、問題点もきちんと考えた方がよいと思います。
- ・ 生成AIと成績評価について
- ・ AI利用に際して理解すべき著作権法等の法律。AI普及により考えられる将来的な脅威（セキュリティリスク、業務・教育への影響）等
- ・ AIチェッカーの活用事例
- ・ 生成AIにつきましては、学習やレポート作成の上での利用や採点などに関わる基準が未成熟であり、さらに議論を重ねてゆく必要性を感じました。
- ・ 生成AIについて、さらに様々な実践ケースの提示を頂ければ有難く思います
- ・ 生成AIについてのワークショップはとても興味深かったのですが、まだ使えそうにないので、さらに続けていただければと思います。
- ・ 生成AIによる図形的デザインングのオリジナリティと人類言語との相関（例：生成AIの使用頻度における日米の差は、”追い付き、追い越せ”といった、不毛な国際競争的認識が第一と位置づけられるべきものではなく、多分に使用言語の性質的差異による処が大きいであろうと想像される点、等からも）

Q3 今後、どのようなテーマのワークショップに参加したいと思いますか。

- ・生成AIで動画を作成する方法、おすすめのAI作成ツール（サイト）や、ツール（サイト）によって何が出来て何ができないのか、違いなどを教えてほしいです。
- ・具体的なテーマは思い浮かびませんが、今回のワークショップ大変興味深く勉強になりました。柔軟な感性と発想を持った学生や子供たちが新しい技術に触れた際倫理的に間違った使い方をしないように、技術を使わせないのではなく、まず大人が技術の使い方に慣れてよりよい方向へ進んでいければいいと思いました。生成AIを動画作成や広告、記事作成など業務で積極的に使っていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・本日のご質問のなかで、生成AIによるレポート作成について、該当率が80%以下になるように、学生修正させるという、ものがあり、大変興味を持ちました。もし、それを実践されている方がいらっしゃったら、ご報告を拝聴致したく存じます。
- ・講義の工夫
- ・今回のように参加者が実際に使ったことがないものでも自分が使っていることをイメージできるような内容がテーマであれば業務の参考になりますし参加したいと思います。
- ・文科相の数理データサイエンスAI教育プログラムに関するWS
- ・とても興味深かったです。大学はもっと「使いこなす」方向で、考えていく場ではないかなと実感しました。生成AIについてのワークショップ、また企画していただきたいです。
- ・生成AIの積極的な活用とその留意点とは
- ・今回のテーマは良かったと思います。ただ、使い方は今後も進歩すると思われしますので、是非第3段をお願いします。
- ・特にないけれど、このようなものには参加させていただきます。
- ・統計データなどについての適切なグラフの書かせ方
- ・今回のように文系に有効な生成AI等工学、IT系のワークショップにも参加したいと存じます。今回は有意義でした。まことにありがとうございます。
- ・AIを活用した大学での英語教育の実践例
- ・ワークショップ（実践編）では大変勉強させていただきました。今後は、今回実践例をお話いただいた学部（教員）以外の実践例のお話も拝聴したいと思います。
- ・AIを効率化のためにどのように活用されているか、他のバリエーションについても伺いたいです。

Q3 今後、どのようなテーマのワークショップに参加したいと思いますか。

- ・ 学生に興味を持たせる講義パワーポイントの作成方法と注意点
- ・ 特許出願に関するもの
- ・ 生成AIの具体的な活用について、もう少しいろいろな事例を知ってみたいです。
- ・ 教員の効率的な時間管理の仕方についてのベストプラクティス。
- ・ 関連する授業がありますので、今後活用させていただきます。
- ・ 今回のように、話題になっていることを取り上げて欲しい。
- ・ 今回のワークショップで具体的な利用法について知ることができました。AIの方も急速に進歩しているので、このようなワークショップを継続して頂きたいと思います。
- ・ AIについては初心者なのですが、人文系の授業・評価・採点への取り入れ例や、学生がどのようなことにAIを利用する可能性があるか、などについてさらに情報があれば知りたいです。
- ・ 生成AIについては状況がどんどん変わっていくと思いますので、しばらくはある程度の頻度でフォローしていただけるとありがたいです。
- ・ 大学生の向学心やモチベーションの高め方について。
- ・ このような教育上の新しい話題について研修していただけるのはありがたい。
- ・ 職員ですが、具体的にどういう仕事に生成AIを活用できるのかまだイメージできません。何か具体的な活用方法を教えてほしいと思います。
- ・ 有意義な講演でした。ありがとうございました。
- ・ AIを使わなくてもよいので、試験・レポート評価を適正に効率よく行う方法について（ループリック以外）。
- ・ 今回のような実例を挙げてもらいさらに、具体的な解説内容にも触れていただくととても参考になると思う。
- ・ わざわざAIを使っている感じがして、まだ自分で使ってみるきにはならなかった。
- ・ 論文作成への活用（講義での論文・レポートの書き方指導も含めて）